

公益財団法人静岡県国際交流協会 平成 25 年度事業報告

- 平成 25 年度は、事業の継続性に配慮しながら国・県の委託事業、民間助成事業等の取り込みに努めた結果、決算額は 4,552 万円余（前年度 4,768 万円余）、経常収支差は▲144 万円余（同▲364 万円余）となり、前年度に比べ赤字の縮減が図られた。
- 事業実績では、外国籍住民を対象とした相談事業の高度化や県教育委員会との連携による外国人児童生徒の支援、多文化共生ネットワーク事業の充実・強化などに取り組んだ。
また、資産運用では、平成 26 年 3 月末の東京電力債（帳簿価格 3 億円）の評価指数が 81.59 と前年同期（評価指数 77.44）と比べ 4.15 ポイント上昇し、僅かではあるが評価額に改善がみられた。
- 平成 25 年度の年間を通じ、効率的な事業執行や事業効果の最大化を図り、公益法人会計を知悉する会計事務所の指導及び指示に基づき的確な会計処理に努めた。

1 国際理解・交流推進事業

【 県民・団体への働きかけ、連携強化 】

(1) 情報収集提供事業 (3,152,280 円)

- ア 情報誌 (SIR Joy Press) 4,000 部を年 11 回発行した。
- イ ホームページ「SIR 静岡県国際交流協会」の保守・更新を行った。
平成 25 年度 平均訪問者数 7,768 件/月
平均ヒット数 9,839 件/日

(2) 国際理解教育事業 (1,224,291 円)

- ア アース (明日) カレッジ 2013 開催事業
国際理解・交流推進に取り組む県内外団体が連携・協働を強化するとともに、県民への情報発信力を高めるため、国際理解教育を推進する指導者研修会や現在の国際的な課題を考える講座を開催した。

(ア) 研修会

- ・ 「食から考える日本のコト、未来のコト」

開催時期	平成 25 年 6 月 30 日 (日)
会場	常葉大学大学院サテライトキャンパス (静岡市)
参加者	47 名

(イ) 実践講座

- ・ 「世界の学校へ行こう。」

開催時期	平成 25 年 7 月 20 日 (土)
会場	いずみの郷 (長泉町)
参加者	24 名

(3) 外国語ボランティアバンク設置事業 (県委託事業) (1,648,458 円)

- 県の国際的イベント開催時の言語支援や災害時の外国籍住民への円滑な支援体制の構築等を図るため、県の委託を受けて、県が養成した外国語ボランティアや語学が堪能な県民のボランティア登録を行うとともに、情報提供及び資質向上研修を実施した。

- ア 登録者数 1,063 名 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
- イ 研修会の開催 (東・中・西部)

< 西部研修会 >

- ・ 開催時期 平成 26 年 3 月 1 日 (土)
- ・ 会 場 掛川市生涯学習センター (掛川市)
- ・ 参加者 54 名
- ・ 内 容 通訳ボランティア英語スキルアップ講座

< 東部研修会 >

- ・ 開催時期 平成 25 年 7 月 14 日 (日)
- ・ 会 場 富士市フィランセ (富士市)
- ・ 参加者 38 名
- ・ 内 容 災害時の語学ボランティア養成講座

< 中部研修会 >

- ・ 開催時期 平成 25 年 10 月 27 日 (日)
- ・ 会 場 静岡県男女共同参画センターあざれあ (静岡市)
- ・ 参加者 39 名
- ・ 内 容 いきいきと輝く！ボランティアの心得と醍醐味をまなぶ

ウ ボランティアバンク通信を年 6 回発行

エ 語学ボランティア自主研修へ助成 (8 グループ) した。

(4) 日本国際連合協会関連事業 (9, 371, 539 円)

国際連合の機能・活動に対する理解を深め、国際活動の基本的能力である語学力の向上を図る機会を一般県民に広く提供した。

ア 国連作文・高校生スピーチコンテスト

- ・ 作文コンテスト (117 編) 主張コンクール (5 名) を実施した。
- ・ 国連英語検定 (6 月/18 名、11 月/24 名) を実施した。

イ 国連外国語講座開催 (英・ハンゲル、年 3 回開催 各 10 回、静岡市・沼津市)

- ・ 外国語講座 (受講人数計 499 名) を開催した。

【 海外との関係強化・維持 】

(5) 留学生支援事業 (3, 210, 350 円)

ア ふじのくに留学生親善大使設置事業 (県委託事業) (1, 124, 000 円)

県内大学で学ぶ外国人留学生 20 名に「ふじのくに留学生親善大使」を委嘱した。委嘱後、学校や地域の催し物の場面で母国の文化や歴史などの情報を発信した。

- ・ 委嘱人数 20 名 (中国 8 名、ミャンマー 2 名、ベトナム 6 名、韓国 2 名、カンボジア 1 名、バングラデシュ 1 名)
- ・ 委嘱の開始 6 月
- ・ 参加事業件数 172 件
- ・ 事業参加親善大使 392 人

イ 留学生就職支援事業 (静岡県留学生支援ネットワーク委託事業) (1, 392, 300 円)

県内大学に在学し、静岡県企業への就職を希望する留学生に対し、ビジネス日本語やビジネス文化を学ぶ研修会、及び企業視察や経営者・人事担当者との交流会を実施した。

- ・ 開催時期 平成 25 年 8 月～平成 26 年 2 月
- ・ 開催回数 基礎講座 (中部プログラム) 3 回
同 (西部プログラム) 3 回
企業視察 (東部 1 回・中東部 1 回・西部 1 回) 3 回

- 春バスツアー「静岡県産業を知ろう」(西部) 1回
 - ・ 開催場所 基礎講座(中部プログラム)
(公財)静岡県国際交流協会 共用会議室(静岡市)
基礎講座(西部プログラム)
(公財)浜松国際交流協会 会議室(浜松市)
企業視察
 - 東 部; (株)小林製作所(富士市)、三生医薬(株)(富士宮市)
 - 中東部; (株)ホテイフーズコーポレーション(静岡市)
米久(株)(沼津市)
 - 西 部; (株)シーポイント(浜松市)、(株)榛葉鉄工所(掛川市)
 - 春バスツアー
西 部; ヤマハ発動機(株)(磐田市)、静岡製機(袋井市)
- ・ 受講者 県内留学生 41名
- ウ 留学生地域交流会開催事業(静岡県留学生支援ネットワーク委託事業) (694,050円)
静岡県の自然や文化に対する留学生の理解を深めるため、留学生、地域住民との交流会を開催した。
 - ・ 開催時期 平成25年10月20日(日)
 - ・ 参加人数 100名(県内留学生64名、日本人学生18名、スタッフ18名)
 - ・ 開催場所 富士山本宮浅間大社(富士宮市)、富士山資料館(裾野市)

(6) 海外国際交流団体連携事業

国際相互理解を促進するため、韓国仁川市国際交流センターからの市民交流希望案件を県内の青少年団体や女性団体、自治体等に提案した。

(7) 海外移住者援護事業(県補助事業、県委託事業) (3,023,330円)

県レベルの国際交流を円滑に進めるための国際協力事業の一環として、県の補助を受けて、海外静岡県人会への助成や高齢者表彰を行った。また、静岡県海外移住者子弟育成事業の委託を受けて、南米県人会より推薦を受けた海外技術研修員の入国から帰国までの受入れ事務や生活支援事務及び研修実施に関わる調整を行った。

ア 海外移住者援護事業(県補助事業) (1,793,780円)

- ・ インターネットによる情報交換ネットワーク(オレンジネット)
協会ホームページ及び情報誌にブラジル、アルゼンチン、ペルーの各県人会から提供された情報を掲載した。
- ・ 在外県人会への助成
ブラジル 500千円、アルゼンチン・ペルー 200千円、サンパウロ日伯援護協会・アマゾニア日伯援護協会 80千円
- ・ 在外県人高齢者表彰
ブラジル 6名、アメリカ 4名 を表彰した。

イ 静岡県海外技術研修員受入事務事業(県委託事業) (1,229,550円)

- ・ 実施日 平成25年11月5日～11月29日
- ・ 研修員名 アンドレア 美津子 フラガシ(アルゼンチン共和国)
- ・ 研修場所 静岡県内(総合教育センター、グランシップ、県内幼稚園、保育園等)
- ・ 研修内容 幼児教育、乳幼児保育研修

2 多文化共生推進事業

【 外国籍住民支援 】

(1) 外国人住民支援アドバイザー設置事業（県委託事業）（706, 651 円）

近年の不況、滞在の長期化や定住化に伴い外国籍住民が抱える複雑化した課題等に対応するため、県の委託を受けて、ポルトガル語及びスペイン語の能力を持つ相談員を配置して相談窓口を開設するとともに、各地域の相談窓口の活動を支援した。

- ・ 相談件数 406 件
- ・ 主要国別人数

{	ペルー	122 件、	ブラジル	92 件、	パラグアイ	69 件
	日本	44 件、	ボリビア	23 件	など	
- ・ 主な相談内容

{	医療通訳	39 件、	通訳・翻訳	36 件、	病院関係	33 件
	ビザ関係	23 件、	法律関係	21 件	など	
- ・ 出張相談会 計 2 回（中部 1 回、西部 1 回）

(2) 外国籍住民の定住化に対応した相談窓口の高度化事業（年賀寄付金配分事業）

(3, 855, 837 円)

外国籍住民の生活で重要となる医療、福祉、教育、雇用、防災等の分野での具体的な支援策の構築を図るため、「外国籍住民のための医療通訳体制整備」に向けた自主勉強会の立ち上げや医療通訳者派遣支援を行うとともに、病院と連携した研修会や情報交換会等を実施した。

ア 医療通訳者養成のための言語別自主グループの研修会開催等

- ・ 開催時期 平成 25 年 4 月～26 年 3 月
- ・ 参加人数 28 名（6 言語）
- ・ 開催回数 自主勉強会 2 回・合同研修会 2 回
- ・ 開催場所 （公財）静岡県国際交流協会 公用会議室（静岡市）

イ 医療通訳者派遣費補助

- ・ 派遣者 21 件（3 言語 / スペイン語・タガログ語・英語）
- ・ 派遣病院 5 病院

ウ 医療関係者との連携

- ・ 支援体制整備に向けた関係者との研修会・情報交換会等の開催

{	開催時期	平成 25 年 9 月～平成 26 年 3 月
	参加人数	94 名
	開催回数	研修会 2 回、セミナー 1 回
	開催場所	3 病院（静岡市、湖西市）
- ・ アンケート調査の実施 静岡県立総合病院
- ・ 書面アンケート及び聴き取り調査の実施
書面アンケート（180 病院）、聴き取り調査（15 病院）
- ・ 専門家（静岡県弁護士会）との情報交換会
平成 25 年 11 月 21 日（木）、39 名、静岡県弁護士会館

(3) 日本語講師ボランティア養成事業（文化庁委託事業）（2, 961, 540 円）

外国籍住民への日本語指導を行うボランティアの指導者を育成するため、文化庁の委託を受けて、県内ボランティアの中心的人材が参加する「静岡県・日本語ボランティアセミナー2014」及び日本語支援の中心的人材を養成する「日本語ボランティア・スキル

アップ研修会」を開催した。

ア 静岡県・日本語ボランティアセミナー2014

- ・ 開催時期 平成26年1月13日(月・祝)
- ・ 参加者 171名
- ・ 会場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市)

イ 日本語ボランティア・スキルアップ研修会

- ・ 開催時期 平成25年9月7日(土)～11月16日(土) 計7回
- ・ 参加者 31名
- ・ 会場 三島市民文化会館(三島市)

ウ 日本語サポーター

- ・ 登録者数 297名

(4) 外国人学校児童生徒への日本語支援事業(自治体国際化協会助成事業)(553,091円)

日本語の学習環境が整っていない外国人学校に通う児童生徒に対し、将来、日本社会で自立して生活できるよう日本語の習得支援等を行うため、自治体国際化協会の補助を受けて日本語指導を介した防災教育等を実施した。

ア 外国人学校生徒を対象とした防災研修

- ・ 実施日 平成25年9月4日(水)
- ・ 参加者 64名
- ・ 参加校

[エスコラ・フジ(富士市)、ソヒゾ・デ・クリアンサ(菊川市)、]
	エスコラ・オブジェチャーボ・デ・イワタ(磐田市)	
- ・ 会場 静岡県地震防災センター(静岡市)

イ 外国人学校親子で学ぶ防災研修

- ・ 実施日 平成25年12月8日(日)
- ・ 参加者 82名
- ・ 参加校

[エスコラ・フジ(富士市)、エスコラ・コニュセール(袋井市)、]
	エスコラ・オブジェチャーボ・デ・イワタ(磐田市)	
- ・ 会場 静岡県地震防災センター(静岡市)

【地域連携・協働事業】

(5) 多文化共生ネットワーク構築事業(県委託事業)(1,590,980円)

県内の27国際交流協会や活動団体の連携や協働の充実・強化を図るため、県の委託を受けて関係情報の収集や提供、連絡会の開催を通じた情報交換、相談員や通訳者を対象とした専門研修会を行った。

ア ホームページによる情報提供を行った。

イ 市町国際交流協会や多文化共生関係者を対象として、災害時の外国籍住民支援をテーマに連絡会を開催した。

< 東 部 >

- ・ 開催時期 平成26年2月20日(木)
- ・ 参加者 17名
- ・ 開催場所 三島市役所 中央別館(三島市)
- ・ 内 容 「災害時における被災外国人の現状や課題、多言語通訳者の役割や活動を学ぶ」をテーマとした専門家の講演及び意見交換会

< 中 部 >

- ・ 開催時期 平成 26 年 1 月 25 日 (土)
- ・ 参加者 20 名
- ・ 開催場所 藤枝市民文化センター(藤枝市)
- ・ 内 容 「ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワークの活動を学ぼう。」をテーマとした専門家の講演及び意見交換会

< 西 部 >

- ・ 開催時期 平成 26 年 2 月 27 日 (木)
- ・ 参加者 25 名
- ・ 開催場所 ワークピア磐田 視聴覚室(磐田市)
- ・ 内 容 「定住者として在留する南米日系人の受入れを巡る諸問題について」、「保健所など専門機関における外国人支援の課題について」をテーマとした専門家の講演及び意見交換会

ウ 外国籍住民相談員や通訳者を対象とした専門研修会を開催した。

< 東 部 >

- ・ 開催時期 平成 25 年 7 月 11 日 (木)
- ・ 参加者 25 名
- ・ 開催場所 東部健康福祉センター(三島市)
- ・ 内 容 女性相談員や専門家による基礎講座及びグループワーク(事例検討)

< 中 部 >

- ・ 開催時期 平成 25 年 7 月 9 日 (火)
- ・ 参加者 20 名
- ・ 開催場所 (公財) 静岡県国際交流協会 公用会議室(静岡市)
- ・ 内 容 女性相談員や専門家による基礎講座及びグループワーク(事例検討)

< 西 部 >

- ・ 開催時期 平成 25 年 7 月 8 日 (月)
- ・ 参加者 24 名
- ・ 開催場所 西部健康福祉センター(磐田市)
- ・ 内 容 女性相談員や専門家による基礎講座及びグループワーク(事例検討)

(6) 外国籍年少者支援事業 (716,769 円)

ア 静岡県教育支援者研修会

日本語の初期指導が必要な子供たちへの日本語習得支援方法をテーマとした研修会を県教育委員会と連携・協力して開催した。

- ・ 開催時期 平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月 計 5 回
- ・ 参加者 94 名
- ・ 開催地 磐田市、袋井市、富士市、沼津市

(7) 外国人技能実習生を対象とした地域連携日本語支援事業 (文化庁委託事業)

(1,742,908 円)

文化庁の委託を受けて、地域の日本語指導ボランティア、企業及び実習生の三者を結びつけ企業内で実習生を対象としたボランティアによる日本語習得指導を行うことで、住民に支えられる地域の企業活動、住民と実習生の相互交流・相互理解を促進させた。

- ・ 実施企業等 6 企業等 ※
- ・ 実施期間 平成 25 年 6 月～平成 26 年 3 月
- ・ 参加実習生 77 名 (中国人及びインドネシア人実習生等)

※ 6 企業等

ア 檜工業株式会社 (御殿場市)

- ・ 実施日 平成 25 年 7 月 6 日 (日)～1 月 18 日 (土)
- ・ 参加者 インドネシア人実習生 3 名

イ (株) カヤ精密工業 (焼津市)

- ・ 実施日 平成 25 年 6 月 1 日 (土)～9 月 14 日 (日)
- ・ 参加者 中国人実習生 6 名

ウ 焼津市魚仲水産加工業協同組合 (焼津市)

- ・ 実施日 平成 25 年 10 月 6 日 (日)～12 月 8 日 (日)
- ・ 参加者 中国人実習生 20 名

エ マガタ富士化成株式会社 (磐田市)

- ・ 実施日 平成 25 年 11 月 23 日 (土)～3 月 9 日 (日)
- ・ 参加者 インドネシア人実習生 6 名

オ 湖西国際交流協会 (湖西市)

- ・ 実施日 平成 25 年 9 月 8 日 (日)～12 月 8 日 (日)
- ・ 参加者 インドネシア人実習生等 20～30 名

カ ユニクラフトナグラ株式会社 (湖西市)

- ・ 実施日 平成 25 年 10 月 6 日 (日)～1 月 25 日 (土)
- ・ 参加者 インドネシア人実習生 12 名